

# ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 応募論文から ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

審査委員長特別賞

未来の自分に向けてはばたく

香川県立丸亀高等学校 2年 小林千夏(SI丸亀 推薦)

10年後の自分は何をしているのでしょうか。めまぐるしく過ぎていく高校生活の中で具体的な進路をすでに考えている友人の話聞いて、焦りや不字を感じることもあります。

しかし、そんな私にも昔から変わっていない好きなことがあります。それは「言葉にふれること」です。小さい頃から本を読むことが大好きで、小学生のときは毎日図書室に通い詰めるほどでした。今は高校生になって忙しくなり、本を読む時間は前より減りましたが、本を読むことが大好きな気持ちは変わりません。高校での国語や英語の勉強も楽しくて、高校を卒業しても大学で続けて勉強したいです。

将来どんな仕事をしているのか想像もできませんが、この「好き」という気持ちを大切にできる大人になりたいと思っています。

そしてそんな大人になるために自分に何ができるのか少し考えてみました。高校2年生という人生の分かれ道に立って、改めて自分が将来なりたい姿を想像してみて、今の私にできることは「もっとたくさんの人と出会い、もっとたくさんの方の考え方を知ること」だと思います。私はまだ16年しか生きていないし、知らないことの方がたくさんあります。自分の好きなことを続けていくためには、自分の視野を広げて将来の選択肢を増やさなければなりません。

もっとたくさんの方たちと会って交流してみたい、そう考えていた時に先生から声をかけていただきました。このプロジェクトで同世代の方と話せることがとても楽しみです。

私は今まで人に流されやすい性格で、何かを選択するときには他の人に任せてしまう他力本願なところがありました。しかし、高校に入学して、これまで以上に様々な人に出会って、物事に対する考え方が少しずつ変わってきました。色々な分野で挑戦する同級生や先輩がいて、周りで支えて励ましてくれる仲間や先生がいて、私は挑戦することに対する恐怖心が以前よりも少なくなっているな、と感じるようになりました。

未来の自分は今の自分の行動が作ります。人と関わっていく中で自分が決めた選択を大切にしながら、自分の将来を、夢を探していきたいです。